

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第38週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (38週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 9例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 25例。4類感染症：報告なし。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	リンパ節結核	左鎖骨上窩皮膚自壊
			70歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	肺結核	症状なし
			70歳代	女	尿路結核	排尿時痛
			80歳代	男	肺結核	倦怠感
			80歳代	男	肺結核	発熱
		都城	80歳代	男	結核性胸膜炎	症状なし
		延岡	5~9歳	男	肺結核	咳
			80歳代	男	舌結核	舌潰瘍
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	※22例(患者4例、無症状病原体保有者18例) 【表1】に年齢別報告数、【表2】にO血清型別報告数を示す。 患者の主な症状は、水様性下痢 等(HUS発症例なし)			
		日南	0~4歳	男	—	水様性下痢、O55(VT1産生)
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	O157(VT2産生)
			40歳代	男	無症状病原体保有者	O157(VT2産生)
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	20歳代	女	—	尿路感染症 菌種: <i>Enterobacter aerogenes</i>
	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	80歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 診断の確実度(疑い)	進行性認知症、視覚異常、 精神・知能障害

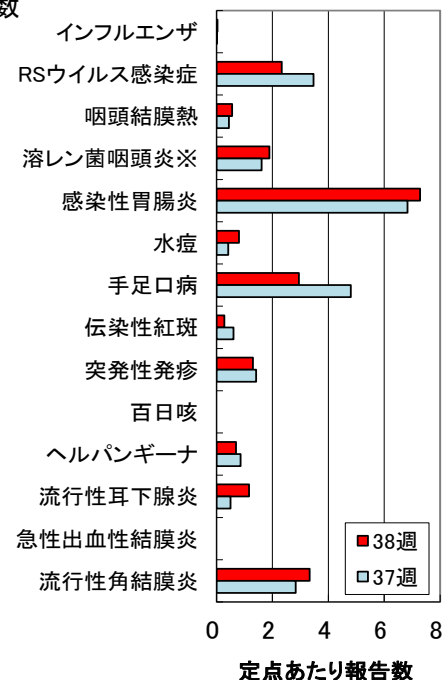
【表1】年齢別報告数
(宮崎市保健所管内)

0~4歳	5~9歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
13	2	1	3	1	1	1

【表2】O血清型別報告数
(宮崎市保健所管内)

	VT1
O103	1
不明	21

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は716人(定点当たり22.8)で、前週比94%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は68人(1.9)で、前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約1.9倍であった。年齢別では3~5歳が全体の約4割を占めた。

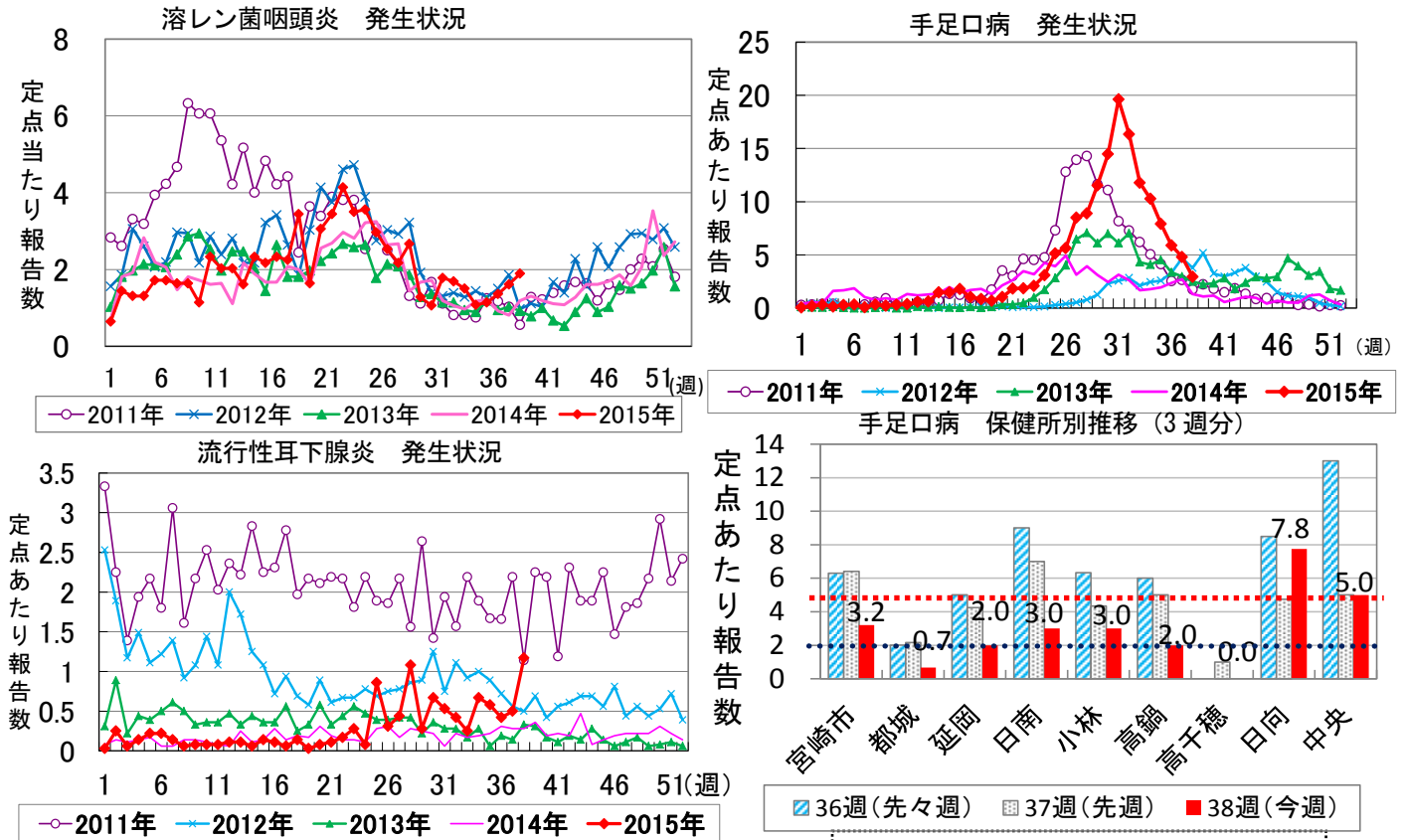
*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。

【手足口病】

・報告数は106人(2.9)で、前週比61%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.5)の約1.2倍であった。日向(7.8)、中央(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

【流行性耳下腺炎】

・報告数は42人(1.2)で、前週比223%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約1.1倍であった。小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約6割を占めた。



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日南保健所管内で1例報告があった。5~9歳で、鼻咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(3.8)
日南	なし
小林	流行性耳下腺炎(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.8)
中央	手足口病(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成27年9月18日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	5~9歳	女	2015.9.3	発熱(40.0℃)、肺炎	咽頭ぬぐい液	2015.9.8
<i>Salmonella</i> Manhattan(O8(O6):d:1,5)	—	女	2015.9.3	—	便	2015.9.10
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	10歳代	男	2015.9.12	発熱(39.0℃)、肺炎	咽頭ぬぐい液	2015.9.12

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2015.7.27	手足口病、水痘、39.5℃、発疹、口内炎	咽頭ぬぐい液	2015.9.11
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2015.8.2	手足口病、38.4℃、発疹、口内炎	咽頭ぬぐい液	2015.9.11
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2015.8.3	手足口病、38.1℃、発疹、咳	咽頭ぬぐい液	2015.9.16
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2015.8.1	手足口病、39.2℃、発疹、水疱	咽頭ぬぐい液	2015.9.16
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2015.8.1	手足口病、丘疹	咽頭ぬぐい液	2015.9.16
コクサッキーウイルスA6型	10歳代	女	2015.8.21	手足口病、発疹、口内炎、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.9.16
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	女	2015.8.11	ウイルス性発疹、38.2℃、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.9.16
エコーウイルス16型	0～4歳	男	2015.7.31	胃腸炎、鼻水、咳	便	2015.9.16
エコーウイルス18型	5～9歳	女	2015.8.13	急性脳症、40.0℃	便	2015.9.17
RSウイルス	0～4歳	女	2015.9.11	下気道炎、急性肺炎、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.9.18
RSウイルス	0～4歳	男	2015.9.11	下気道炎、急性肺炎	咽頭ぬぐい液	2015.9.18
RSウイルス	0～4歳	男	2015.9.14	気管支炎、39.6℃、集団かぜ	咽頭ぬぐい液	2015.9.18
RSウイルス	0～4歳	男	2015.9.14	下気道炎、39.0℃、マイコプラズマ	咽頭ぬぐい液	2015.9.18

○急性脳症の小児の便からエコーウイルス18型が分離された。感染症法に基づく感染症発生动向調査では、急性脳炎（急性脳症を含む）は5類感染症全数把握疾患としてすべての医師に保健所への届け出が義務付けられており、毎年150～250名が報告されている。多くは原因不明で、15歳未満は約4割、15歳以上は約7割が原因不明として届けられている。ウイルス分離のための検体は、咽頭ぬぐい液、血液、便、尿、髄液などが多いが、脳炎の原因と確定するためには、髄液からウイルスを分離することが望まれる。今回分離されたエコーウイルス18型は便から分離されたことから、急性脳炎の直接の原因とするには、疫学状況、随伴症状、検査所見、画像診断などを考慮し判断する必要がある。

📊 全国第37週の発生动向

□ 全数報告の感染症（全国第37週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	370例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	131例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	1例
	デング熱	9例	日本紅斑熱	5例	日本脳炎	1例
	マラリア	3例	レジオネラ症	54例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例	後天性免疫不全症候群	17例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12例	水痘（入院例）	4例	梅毒	46例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3例
	風しん	2例	麻しん	1例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比99%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は2,652人(0.84)で前週比127%と増加した。宮崎県(3.5)、島根県(3.2)、大分県(3.0)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は15,738人(5.0)で前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約2.5倍と多い。宮城県(13.3)、新潟県(12.0)、山形県(11.3)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第38週(9月14日～9月20日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	2	1				1				
	定点あたり	0.02	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	125	84	47	11	5	7	1	4		8	1
	定点あたり	3.47	2.33	4.70	1.83	1.25	2.33	0.33	1.00	0.00	2.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	16	20	2	7	3	2		2		2	2
	定点あたり	0.44	0.56	0.20	1.17	0.75	0.67	0.00	0.50	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	68	8	12	15	7	1	2		20	3
	定点あたり	1.61	1.89	0.80	2.00	3.75	2.33	0.33	0.50	0.00	5.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	246	262	50	76	8	19	49	16	5	30	9
	定点あたり	6.83	7.28	5.00	12.67	2.00	6.33	16.33	4.00	5.00	7.50	9.00
水痘	報告数	15	29	17	6	2			1		3	
	定点あたり	0.42	0.81	1.70	1.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	173	106	32	4	8	9	9	8		31	5
	定点あたり	4.81	2.94	3.20	0.67	2.00	3.00	3.00	2.00	0.00	7.75	5.00
伝染性紅斑	報告数	22	10	5			4				1	
	定点あたり	0.61	0.28	0.50	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	51	47	10	15	3	2	5	3		6	3
	定点あたり	1.42	1.31	1.00	2.50	0.75	0.67	1.67	0.75	0.00	1.50	3.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	31	25	3	1	2	6		1		12	
	定点あたり	0.86	0.69	0.30	0.17	0.50	2.00	0.00	0.25	0.00	3.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	42	2	3	15		19	1		2	
	定点あたり	0.50	1.17	0.20	0.50	3.75	0.00	6.33	0.25	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	20	15	3	2						
	定点あたり	2.83	3.33	5.00	1.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	1				1					
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～38週)

2類感染症	結核	160例(9)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	57例(25)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	3例	デング熱	1例	日本紅斑熱	7例
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例(1)
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	14例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	6例				

()内は今週届出分、再掲